

報告事項ツ

国史跡青谷上寺地遺跡整備計画の検討状況について

国史跡青谷上寺地遺跡整備計画の検討状況について、別紙のとおり報告します。

平成30年7月18日

鳥取県教育委員会教育長 山本 仁志

# 国史跡青谷上寺地遺跡整備計画の検討状況について

平成30年7月18日  
文化財課

国史跡青谷上寺地遺跡の整備については、平成28年度から平成30年度までの計画で「整備基本計画（詳細化）及び整備基本設計」を「とっとり弥生の王国調査整備活用委員会 整備活用部会」で検討をしながら作成しています。このたび、第5回整備活用部会を下記のとおり開催しましたので報告します。

記

## 1 開催日時・開催場所

平成30年7月14日（土）午前10時から正午まで・県立むきばんだ史跡公園

## 2 概要

整備のランドデザイン案について、史跡公園の入り口であるエントランス（ガイダンス施設、収蔵展示施設、駐車場）の配置案を検討した上で、エントランス以外の5地区のゾーニング案の詳細を検討した。（別紙図1～4を参照）

### （1）エントランス配置案

エントランスについて、史跡指定地西側の隣接地で山陰道高架の南北に配置する案（別紙図1～4）を検討。

### （2）エントランス以外の5地区

A 弥生の自然景観地区、B 弥生の歴史発見地区、C 古代山陰道地区、D 多目的利用地区、E 景観保全地区

※各地区の説明は別紙1「ランドデザイン（案）での各地区の説明」を参照

## 3 整備活用部会の主な意見

### （1）エントランス配置案について

- 山陰道高架の南側の自然景観が魅力である。景観が映えるところにエントランスを配置したほうがよい。
- ガイダンス施設と収蔵展示施設を集約して設置するとまとまりはよく優先順位は1番と考えるが、集約すると規模が大きくなってデザインが制約され、景観に違和感を与える可能性もあり、分散設置も検討する必要がある。施設を分散するのであれば、収蔵展示施設は北側に配置するのがよい。
- ガイダンス施設と収蔵展示施設を分散する場合にスペース的な制約が生じないか、検討する必要がある。
- 平面図ではガイダンス施設と景観との関係を判断しがたいので、三次元的な景観想定図を作成して検討する必要がある。

#### 【結論】

2案（別紙図1、2）に絞って引き続き検討する。

### （2）エントランス以外の5地区について

- 「古代山陰道」について
  - ・これまで、史跡の歴史的重層性が表現でき、現在の山陰道にもつながることから、古代山陰道を整備する方向で検討してきたが、弥生時代ではないものであり史跡の理解に誤解を生じる可能性もあるので、時代性に違和感がないよう、整備手法を検討する必要がある。
- その他のゾーニングについては特に異論なし。

## 4 今後の予定

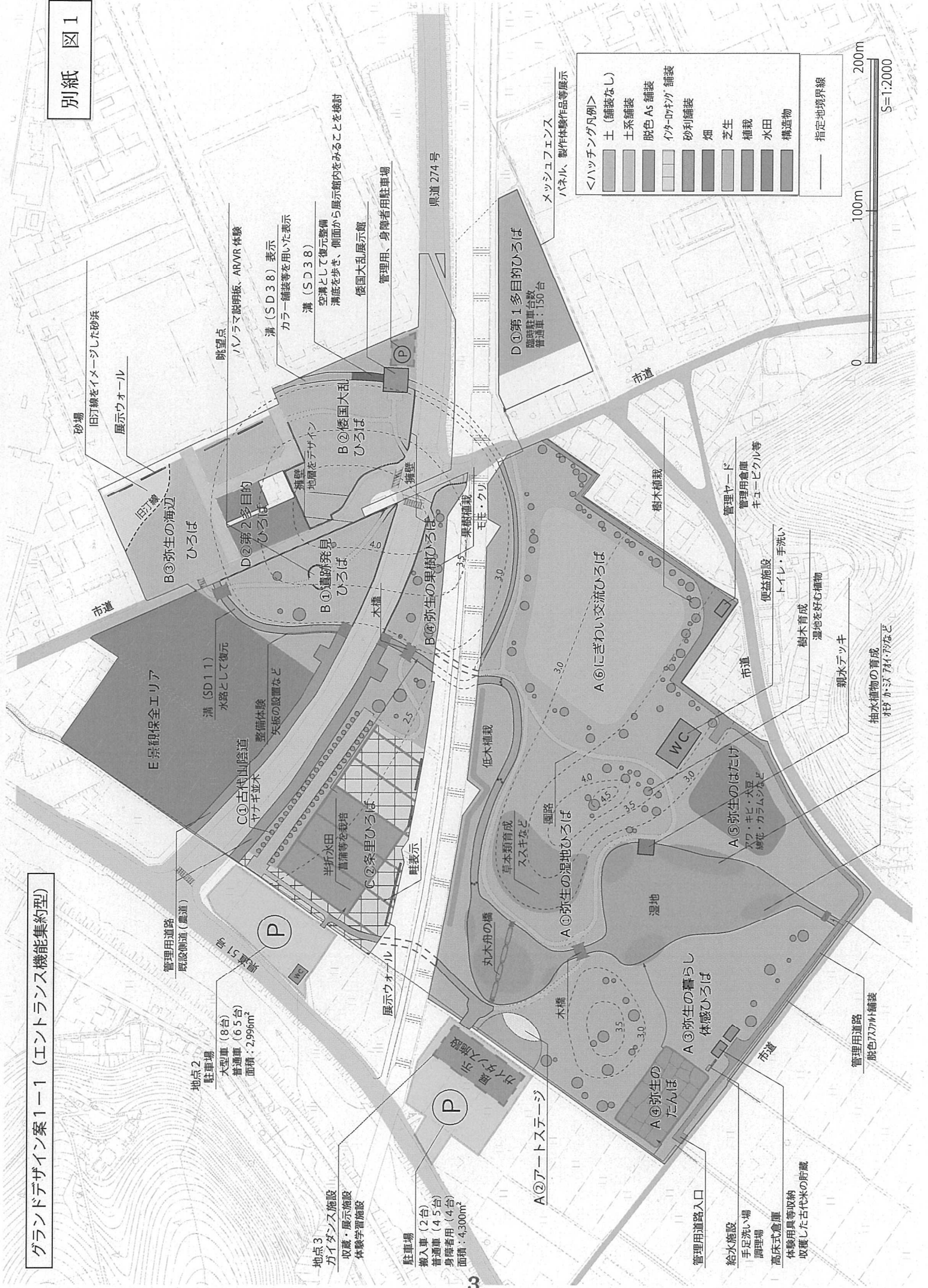
平成30年度	基本計画の最終調整、基本設計 10月前半に第6回整備活用部会を開催し、エントランスエリアの概要、整備活用のテーマ・キャッチフレーズ、維持管理・運営計画、組織体制を検討予定
平成31年度以降	工区を分けて実施設計・工事を優先順位を考慮しながら段階的に実施し、完成した工区から随時公開

## グランドデザイン（案）での各地区の説明

<b>A 弥生の自然景観地区</b>		
勝部川沿いの景観を活かした整備を実施。景観復原調査の研究成果をもとに地形と湿地を整備復元		
①弥生の湿地ひろば	生活文化体験型整備の核となる空間を整備。丸木舟を並べた橋やデッキなど、親水機能を適所に配置。自然と人との関係を学び、遊ぶ場として活用。調査成果にもとづく弥生時代の植生復元に取り込む。	
②アートステージ	演奏、演劇、作品の展示など、多目的に使用。	
③	<図1> 弥生の暮らし体感ひろば	弥生時代の水辺利用、調理、ものづくりなど、さまざまな活動を実践する広場。出土した建築部材をもとに復元した高床倉庫を展示、活用。
	<図2、図3、図4> 弥生の水辺ひろば	弥生時代における水辺の活動体験。出土した建築部材をもとに復元した高床倉庫を展示、活用。
④弥生のたんぼ	弥生時代に特徴的な小区画の水田を整備し、復元した弥生時代の農具などを使用した米作り体験に活用。	
⑤弥生のはたけ	畠を整備し、弥生時代に栽培されていた穀物や野菜類の栽培体験に活用	
⑥にぎわい交流ひろば	地域振興とも連携して、様々なイベントも開催できる広場として活用。周囲にまばらな植栽。	
<b>B 弥生の歴史発見地区</b>		
弥生時代の遺構、遺物が密に分布する「中心域」を核に整備を進める。遺跡が最盛期をむかえる後期後葉（2世紀後半）、そして殺傷痕人骨が発見された溝が埋まる終末期前半（3世紀初め）を整備の対象とし、妻木晩田遺跡における集落景観の復元整備との時代的整合をはかる。		
①遺跡発見ひろば	弥生時代の微高地を再現。発掘調査で確認されている溝を復元整備。史跡の中の最重要地点であることを明示。象徴的空間として整備、活用。最盛期には建物などの地上構造物の存在が明瞭ではないので、当面、建物などは復元しない。溝の復元には一般の参加者を募り、矢板を製作・設置するなど、遺跡の整備体験を行うことを検討。AR/VRなどのデジタルコンテンツを開発し運用する。道路との境界は擁壁を立ち上げ、地層をデザインするなど、遺跡の中を通行している雰囲気演出する。	
②倭国大乱広場／倭国大乱展示館	大量の殺傷痕人骨が出土した溝を復元整備。そこに人骨の出土状況を復元展示する施設を設置する。人骨の散乱状況の復元展示は屋内、屋外のどちらからも観覧できるよう工夫する。また、遺構や遺物の埋蔵環境を保全するため、地下水の水質・水位などのモニタリング機能も備え、情報発信する。	
③弥生の海辺ひろば	遺跡の玄関口であった海との接点を示す空間を整備、活用。砂場を設け、汀を表示。将来的に青谷上寺地遺跡と海との関わりを示す復元品などを屋外展示することなどを検討	
④弥生の果樹ひろば	弥生時代の人々が利用していた果樹を植え、園路を整備、活用。また、古代山陰道地区と弥生時代の空間との間を緩やかに遮断する役割をもたせる。	
<図2、図3、図4> ⑤ものづくり・AR/VR体感ひろば	土器、木器、石器、金属器、ガラス製品などのものづくり。溝の矢板復元体験などに活用。AR/VRなどのデジタルコンテンツを開発し、運用する。	
<b>C 古代山陰道地区</b>		
県道などの道路に囲まれ、指定地内の他のエリアとは分離しており、弥生時代の空間と区別可能。弥生時代の空間とは異なる手法（インターロッキングブロックなどを使用）で空間をデザイン。		
①古代山陰道	位置、規模、方向を表示。青谷横木遺跡の成果も取り入れ、ヤナギなどを植樹。	
②条里ひろば	発掘調査で確認されている半折型の地割りを表示。青谷地域にちなむ菖蒲などの植物を栽培。	
<b>D 多目的利用地区</b>		
多目的に利用できる空間として整備		
①第1多目的ひろば	メッシュフェンスなどを設け、パネルや作品の展示。臨時駐車場としても使用	
②第2多目的ひろば	史跡管理などの作業スペースとして利用。将来的には弥生の海辺ひろばの一部として整備。	
<b>E 景観保全地区</b>		
指定前に営農されていた水田等を景観保全エリアとして管理する。水田として活用することも可。今後の調査研究成果をもとに、将来は適切な整備方法を検討。		

グラウンドデザイン案 1-1 (エントランス機能集約型)

別紙 図 1



地点2  
駐車場  
大型車 (8台)  
普通車 (65台)  
面積: 2,996㎡

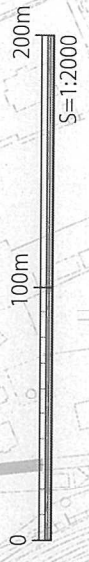
地点3  
ガイダンス施設  
取蔵・展示施設  
体験学習施設

駐車場  
搬入車 (2台)  
普通車 (45台)  
身障者用 (4台)  
面積: 4,300㎡

<ハッチング凡例>

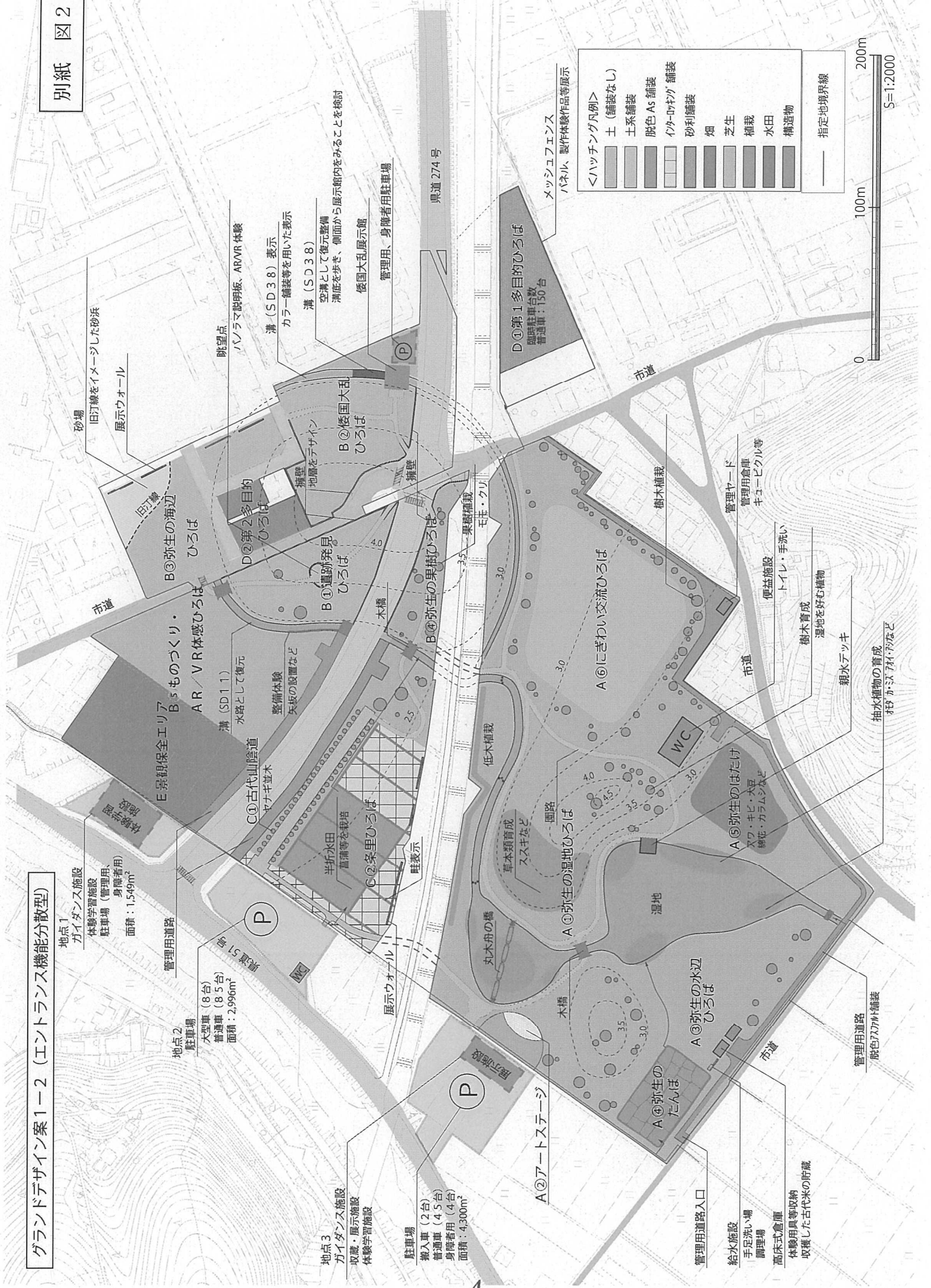
[Pattern]	土 (舗装なし)
[Pattern]	土系舗装
[Pattern]	脱色 As 舗装
[Pattern]	イタドヤシク 舗装
[Pattern]	砂利舗装
[Pattern]	畑
[Pattern]	芝生
[Pattern]	植栽
[Pattern]	水田
[Pattern]	構造物

指定地境界線



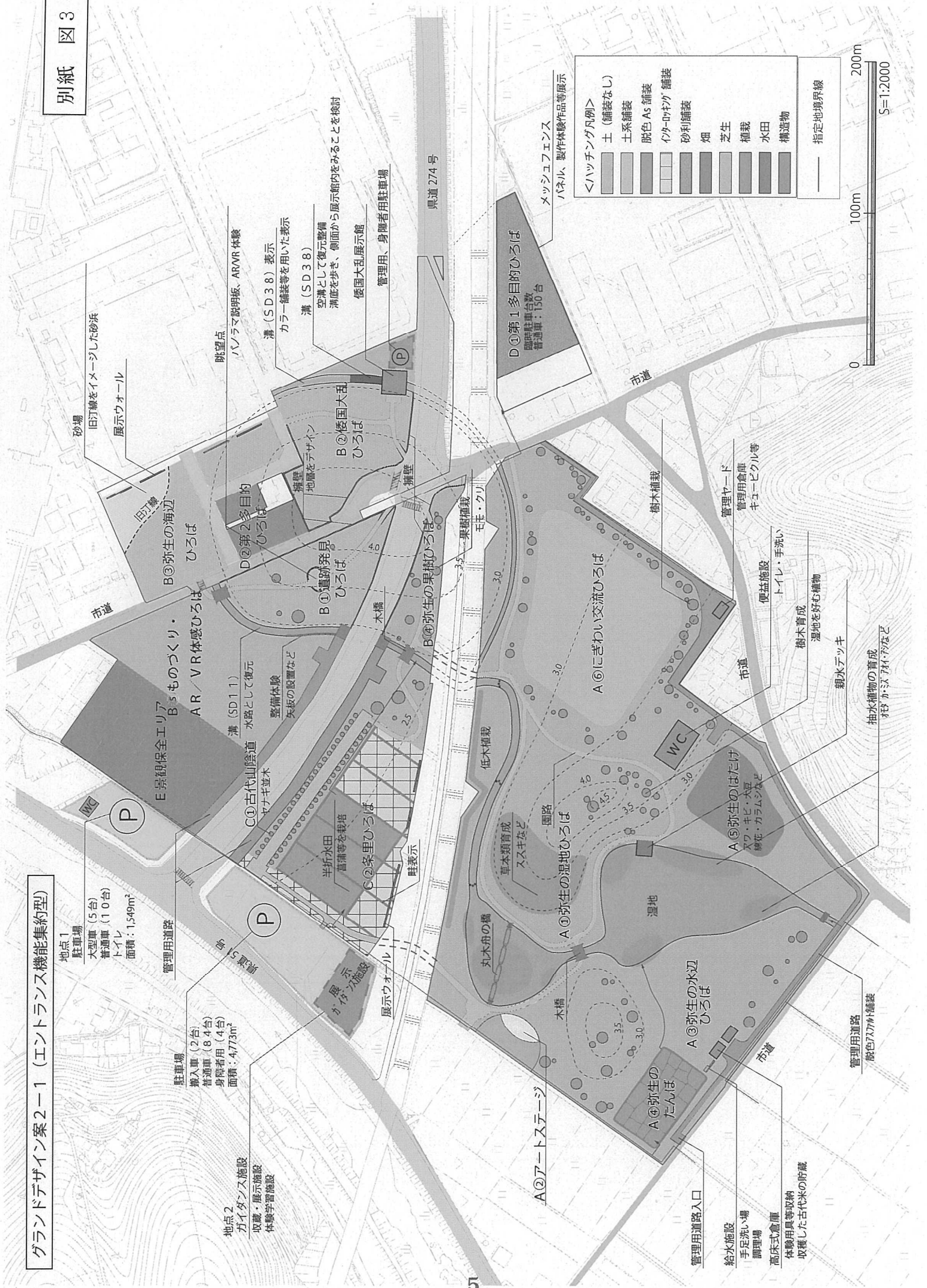
ランドデザイン案 1-2 (エントランス機能分散型)

別紙 図 2



ランドデザイン案2-1 (エントランス機能集約型)

別紙 図3



地点1  
駐車場  
大型車 (5台)  
普通車 (10台)  
トイレ  
面積: 1,549m<sup>2</sup>

駐車場  
乗入車 (2台)  
普通車 (84台)  
身障者用 (4台)  
面積: 4,773m<sup>2</sup>

地点2  
ガイダンス施設  
収蔵・展示施設  
体験学習施設

<ハッチング凡例>

[Pattern]	土 (舗装なし)
[Pattern]	土系舗装
[Pattern]	脱色As舗装
[Pattern]	イタ-ウキガ舗装
[Pattern]	砂利舗装
[Pattern]	畑
[Pattern]	芝生
[Pattern]	植栽
[Pattern]	水田
[Pattern]	構造物
[Line]	指定地境界線



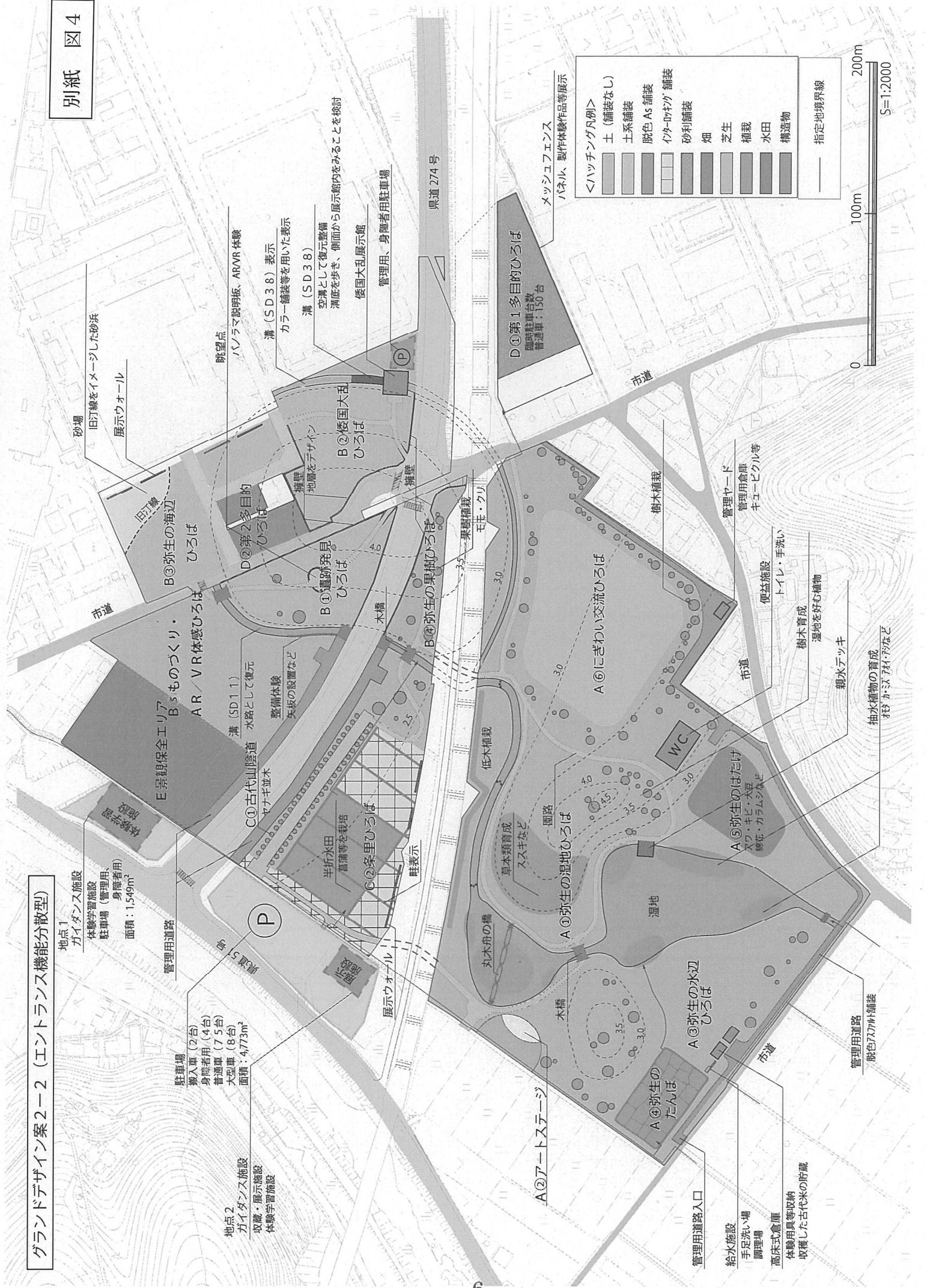
グラウンドデザイン案2-2 (エントランス機能分散型)

別紙 図4

地点1  
ガイダンス施設  
体験学習施設  
駐車場 (管理用、身障者用)  
面積: 1,549m<sup>2</sup>

駐車場  
乗入車 (2台)  
身障者用 (4台)  
普通車 (75台)  
大型車 (8台)  
面積: 4,773m<sup>2</sup>

地点2  
ガイダンス施設  
取蔵・展示施設  
体験学習施設



<ハッチング凡例>

[Pattern]	土 (舗装なし)
[Pattern]	土系舗装
[Pattern]	脱色 As 舗装
[Pattern]	インクドボンド舗装
[Pattern]	砂利舗装
[Pattern]	畑
[Pattern]	芝生
[Pattern]	植栽
[Pattern]	水田
[Pattern]	構造物

